

九州支部活動報告

—第 23 回西日本国際福祉機器展でのオフラインミーティング—

小林 博光

九州支部（総合せき損センター）

令和3年11月18日～20日、北九州市小倉北区の西日本総合展示場新館にて、『第23回 西日本国際福祉機器展』が開催されました。

九州エリアでは大きな福祉機器展なので、協会の方々と交流や情報交換しながら各ブースを巡回するオフラインミーティングを実施しました。

新型コロナウイルス拡散予防のため、いろいろと制限がある中での展示会でしたので、広さも出展社数も例年の半分以下といった印象でした。オフラインミーティングは私がスティックに図1の旗を掲げ目印となり、支部役員の中村詩子氏と私の2名で、プレゼンを見たり体験したり質問したり意見交換したりしながら展示ブースを巡回しました。目印の旗を見つけて声を掛けてくれた協会員は残念ながらいませんでしたが、出展社のスタッフの中に協会員の方も数名いらっしゃいました。



図1 RESJA九州支部の旗

この旗を提示しながら、リハ工学協会の概要とリハ工学とは何かということについても、出展社と話し合いながら楽しく巡回できました。また、開発しているものを誰に評価してもらったら良いか、誰に相談して良いか分からないといった悩みを持つ出展社にも出会い、リハ工学カンファレンスの参加や当協会加盟のお誘いも行いました。地方の福祉機器展の魅力の1つは小さな地元企業や個人事業主のキラリと光るアイデア製品です。図2～4にその一部を挙げてみました。どれも大手企業には無い発想で大変興味深い

機器でした。もっとブラッシュアップするとより魅力的で実用的な機器になる可能性を秘めていると感じました。このような企業や個人がリハ工学協会に加盟し、情報交換やユーザー評価や共同開発がなされると嬉しく思います。



図2 パイコロ技研のブース
歩行器+杖。グリップの向きで進行方向をコントロールできる。



図3 (有) ガジェット広島のブース
発泡スチロール製のベッド端座位姿勢保持ブロック。ポジショニングクッションと組み合わせて使用したい。



図4 みやび工務店のブース
バランスボールとブLOWERを接続して立位補助。

独立行政法人労働者健康安全機構
総合せき損センター 医用工学研究室
〒820-8508 福岡県飯塚市伊岐須 550-4